

H27実践的な手術手技研修の実施概要と課題分析



名古屋市立大学大学院
医学研究科統合解剖学分野
植木 孝俊

H27年度の研修実績

実施済 消化器外科2回、呼吸器外科3回、形成外科1回、
腎泌尿器科1回

予定 耳鼻咽喉科頭頸部外科1回、整形外科1回、
呼吸器外科1回、形成外科1回
以上総計11回

消化器外科

H27.9.30 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
講師3名(名市大病院消化器外科)
受講者9名(愛知県内5病院)、3献体

H27.11.6 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
(+ 上腸間膜動脈右半周リンパ節廓清)
講師3名(名市大病院消化器外科)
受講者9名(愛知県・岐阜県の8病院)、3献体



H27.11.6消化器外科研修風景

呼吸器外科

・実施済

H27.9.9 (1) 胸腔鏡下右肺上葉切除術

(2) 胸腔鏡下心嚢内肺動脈・肺静脈確保

講師4名(名市大病院呼吸器外科)

受講者12名(愛知県・岐阜県の8病院)、3献体

H27.11.18 (1) 胸腔鏡下右肺上葉切除術

(2) 胸腔鏡下心嚢内血管処理

講師4名(名市大病院呼吸器外科)

受講者12名(愛知県・岐阜県の8病院)、3献体

H27.12.16 胸腔鏡下左肺上葉切除術

講師3名(名市大病院呼吸器外科)

受講者9名(愛知県・三重県の5病院)、3献体

・実施予定

H28.3.12 (1) 胸腔鏡下肺葉切除術

(2) 心嚢内血管剥離

講師4名(名市大病院呼吸器外科)

受講者12名(愛知県・岐阜県の8病院)、3献体

形成外科

・実施済

H27.12.9 胸腔鏡下漏斗鏡手術

講師2名(名市大病院形成外科)

受講者6名(愛知県・岐阜県の4病院)、2献体

・実施予定

H28.3.26 胸腔鏡下漏斗鏡手術

講師4名(名市大病院2名、名大病院2名)

受講者9名(愛知県・三重県の5病院)、3献体

腎・泌尿器科

H28.12.18 (1) 腹腔鏡下膀胱全摘除術

(2) 伏臥位後腹膜鏡下腎摘除術

講師3名(名市大病院腎・泌尿器科)

受講者9名(愛知県内5病院)、3献体

耳鼻咽喉・頭頸部外科

・実施予定

H28.2.18 耳下腺浅葉・深葉摘出術

講師3名(名市大病院耳鼻咽喉・頭頸部外科)

受講者9名(愛知県内4病院)、3献体

講師の評価

消化器外科

「膜構造は生体に近似の状態を保たれており、剥離層の確認などを行うことができ、有益な研修であった」

呼吸器外科

「組織の剥離、血管の遊離などの手術手技の確認、向上に有用なトレーニングであった」

研修の課題と対策

課題

・事務面での課題

1. 交付決定の迅速化 H27年度は11月6日に交付決定通知対策
H27年度は準備に自己資金を充当。H28年度より
大学にて予算化
2. 事業の複数年化
対策 自己資金により大型医療機器を購入し、複数年に
亘る事業計画を策定
3. 研修運営モデルの提示
対策 NPOとの共催による事務負担の軽減の検討

課題

・技術面での課題

1. 専用施設での実施 学生解剖実習室を使用
対策 専用施設の開設。H28年度秋より供用
2. 脳組織に適した固定法の探究 脳組織の軟化
対策 Thiel法の改善
3. 透視のための遮蔽 ポータブルX線スキャナを使用
対策 シールド室の設置
4. 感染(肝炎ウイルスなど) 既往歴サーチ、血液検査
対策 臨床検査会社に委託
5. 火葬準備 研修後にシーラーパックなどに封入
対策 体液などの漏出防止、感染予防

中日新聞

発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2016年(平成28年)
1月3日(日)

商売繁盛 家内安全
初えびす
一月五日 午前空時

熱田神宮

スマホで便利
中日新聞プラス
chuplus.jp

中日プラス

検索

登録のお問い合わせは
0120-664411
CHUNICHI Web
www.chunichi.co.jp

手術支援ロボ 国産目指せ

名古屋市長(名古屋瑞穂区)は、手術支援ロボットなど先端医療機器の研究開発拠点「先進医療イノベーションセンター」を後援内に整備する。今秋の開所予定、中部地域の航空宇宙や自動車などのメーカー企業と連携する。手術支援ロボット市場は、世界的に米国製のほぼ独占状態。中部の企業が培ってきた技術を生かし競争力のある国産ロボットを開発し、十年後の実用化を目指す。

(生活部・山本真樹)



黒木孝俊教授

「現在、手術支援ロボットは前立腺がんなどで米製の「ダヴィンチ」と呼ばれるロボットが広く使われている。ただ、一台一三億と高額な上に、加えて年間数千円の維持が必要で、普及に向けた課題となっている。

「開発するロボットは、コスト化と現場のニーズを反映した企業との連携を組むことを目指す。

「欧米よりも小さなアジア人の体の特徴により適した機器を開発し、手術の位置を把握して、画像に換えるように、中部地方に集まる産業界が応用できるような仕組みも目指す。

「同大は、連携操作の細かな動きを実現したり、病巣の位置を把握して、画像に換えるように、中部地方に集まる産業界が応用できるような仕組みも目指す。

「トヨタグループや三菱重工など中部地方に拠点をもち、産業界の技術を持つ複数社に協力を打てるような体制も目指す。

「企業から技術者や研究員を招聘して、共同で研究開発を進める。大学側が研究員を派遣し、企業側が設備を提供する。比較的に、日本版の企業との連携を組むことを目指す。」

中部のものづくり力結集



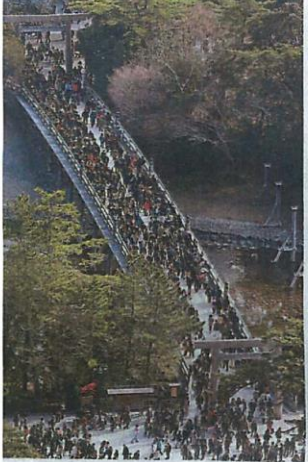
手術支援ロボット 医師が体の立体画像を見ながら、メスなどを備えたアームを遠隔操作する。開腹よりも患者への負担が少ない内視鏡手術で主に使われる。人間の手では難しいミリ単位の動作が可能で、出血量も少ない。

奨学金の返還訴訟 激増

年500件超に 支援機構、回収強化

大学や大学院、専門学校に上った。非正規労働の生計の約四割が利用している。増加も就職で経済的に苦しむ若者が増える一方、本育英会(の奨学金貸付)の回収強化が、返還できないままに留保された。返還が滞った利用者は、実態を示している。奨学金を返さないままに留保された。返還が滞った利用者は、実態を示している。奨学金を返さないままに留保された。返還が滞った利用者は、実態を示している。

伊勢神宮内宮への参拝者でにぎわう宇治橋。2日午後、三連車伊勢市で、本社へ「おおづる」(布原信光撮影)



今秋、名市大に先端医療技術イノベーションセンターを開設

・アナトミカルラボ

・テクニカルラボ

被害者は姉妹か
MRR量産で採用拡大
対談「苦難越え五輪へ」
世界から直撃 社会部

サンデー版+テレビ
大図解 日本食 海外へ
国際 囲碁・将棋
小説 番組紹介
ジュニア中日は休みました

吉永小百合さん 和田誠さん 表現と平和を考える

原爆投下から三年後の長崎を舞台にした映画「母と暮せば」に出演した吉永小百合さんと、アートを通じて平和の大切を訴えてきたイラストレーター和田誠さんが語り合いました。原爆詩を朗読してきた吉永さんは、戦後の悲劇を語り継いでいかなきゃいけない」と訴え、子供時代の疎開生活や戦後の食糧難のつらさを経験した和田さんは「アートの平和のためには、表現者二人に共通するところは、戦後が思い出しにくいところ、切実な願いです。」

対談@映画

サミット控え にぎわい一層

伊勢神宮参詣
五月の主要国首脳会議
伊勢志摩サミットを控
えた伊勢神宮の参拝者
は、伊勢神宮の参拝者
は、伊勢神宮の参拝者
は、伊勢神宮の参拝者